

「新刊紹介 9月号！！」



「竜とそばかすの姫」 細田 守



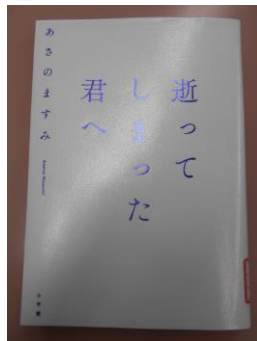
「歌」の才能を持ちながらも、現実世界で心を閉ざしていた17歳の女子高生・すず。超巨大インターネット空間〈U〉で絶世の歌姫・ベルとして注目されていく中、“竜”と呼ばれる謎の存在と出会う…。

「午前3時に電話して」 小手鞠 るい



「女の子なのが嫌になること、ない？」悩みを抱え、友の前から消えたみなみはブックカフェの「白い本」に自分達の物語を書き始める。

「逝ってしまった君へ」 あさのますみ



2019年1月。私は古い友人のひとりを失った。彼は私の大切な友人でもあり、はじめての恋人でもあった。声優・あさのますみが体験した大切な人の「自死」。「残された人々」の想いを綴る、ノンフィクション随想録。

「大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした」 クルベウ



「無理していた自分を慰めてくれる」「自己肯定感が高まる」「ひとりでつらいときに読みたい」読者から共感の嵐！

「三十の反撃」



ソン・ウォンピョン

キム・ジへ。平凡な彼女は、世の中にも社会にも期待することを諦めていた。だが、一癖ある同僚との出会いにより社会への小さな反撃を始める。次第にジへは自分らしい生き方を模索するようになる。

「乳と卵」



川上 未映子

娘の緑子を連れて大阪から上京してきた姉でホステスの卷子。卷子は豊胸手術を受けることに取り憑かれている。緑子は言葉を発することを拒否し、ノートに言葉を書き連ねる。夏の三日間に展開される哀切なドラマは、身体と言葉の狂おしい交錯としての表現を極める。

